

V 「かごしま県民大学『学びの手帳』」推進事業

1 概要

(1) 趣旨

生きがいや心の豊かさを求めて、いつでも、どこでも、だれでも、希望する内容と方法で、気軽に学べるようなシステムづくりが必要になっている。

このため、県や市町村等の主催する生涯学習講座の学習機会を県民へ効果的に提供するとともに、その学習者が個々の学習歴を確認したり、学習成果を幅広く生かしたりしていくことを目的とする。

(2) 概要

中央センターが中心となり、県民の生涯にわたる学習活動を支援し、より学びやすい環境を整備するため、県・市町村・大学等教育機関などと連携して、講座、研修などを提供し県民の学びを応援するため、講座案内や学習履歴を記録する手帳を作成し、希望者へ発行する。

ア 「学びの手帳」とは

「学びの手帳」は、講座などを受講された際に、その学びの足跡を自分自身で記録していくためのものである。学習成果の記録の積み重ねを確認することで、皆様の学びの励みにしていただきたい。

県、市町村、大学等教育機関など様々な機関等で行われる講座などを受講した方には、単位ごとに奨励賞（賞状）を授与する。

イ 『学びの手帳』の申込方法

「学びの手帳」は、県民の方ならだれでも申し込むことができる。（無料）

手続は、申請書（1枚）を提出するだけで、いつでも希望する方に「学びの手帳」を送付する。

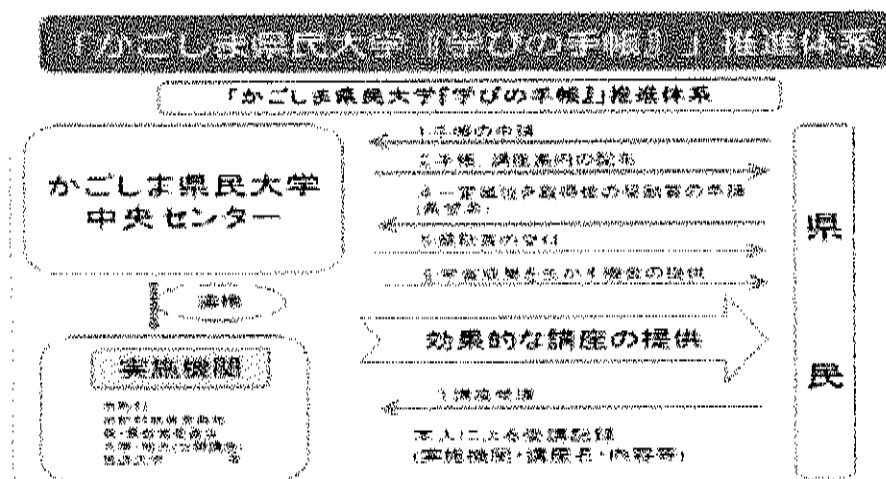
エ 講座案内

県や市町村等の主催する生涯学習講座情報などを、中央センターの「講座案内」や「ホームページ」で紹介する。

(3) 主催

かごしま県民大学中央センター

2 事業体系図



VI かがしま青年塾（明治維新150周年関連事業）

1 目的

明治維新150周年を契機に、本県の教育的風土や伝統を生かして、将来の鹿児島を担う青年層を対象にした「かがしま青年塾」を設置し、今後、様々な分野において地域社会をリードする人材を育成する。

2 主催

鹿児島県・鹿児島県教育委員会

3 対象者及び定員

大学生、社会人（概ね18歳～25歳程度）で、原則毎回参加できる県内在住の人 50人程度

4 期日及び会場

平成29年6月～平成30年2月（月1回程度原則日曜日に実施）
 かがしま県民交流センター、青少年研修センター 他

5 プログラム

現地研修、講演、交流会、宿泊研修、意見発表会 等

6 受講料

無料（但し、宿泊研修必要経費は実費負担）

7 プログラム

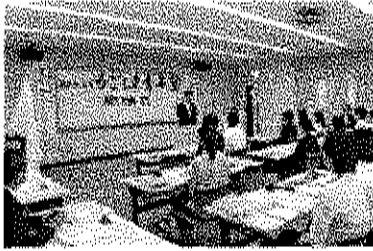
	開催日時・会場	講座内容等	講師
開講式	6月18日（日） 9:00～11:00 かがしま県民交流センター	■開会のあいさつ ■全体プログラム概要説明 ■基調講演 ■明治維新に関する講話	基調講演 講師 島津 公保 氏 （県教育委員、株式会社島津興業取締役相模役） 明治維新に関する講話 講師 堀田 賢治 氏 （鹿児島市維新ふるさと塾特別顧問）
現地研修	6月19日（日） 12:00～17:00 県庁正庁舎	■先進的取組を行っている県内企業等での講話、塾生同士の意見交換 【Aコース】本坊酒造～日之出紙器工業 【Bコース】島津興業（仙巖園ほか）～吾村醸造	講師 本坊 為嗣 氏 （本坊酒造株式会社取締役 管理本部長） 講師 塩崎 康 氏 （日之出紙器工業株式会社代表取締役社長） 講師 中根 操 氏 （株式会社島津興業取締役） 講師 岩川 祐夫 氏 （株式会社島津興業観光事業本部営業課 課長） 講師 吾村 康一郎 氏 （吾村醸造株式会社代表取締役社長）
講演①、講演②	7月16日（日） 8月29日（日） 13:30～16:00 かがしま県民交流センター	■県内外講師による講演 ■講師と塾生、塾生相互の意見交換	講演① 講師 鈴木 智行 氏 （フニー株式会社執行役員社長） 講演② 講師 池田 和夫 氏 （アルバック九州株式会社代表取締役社長）
交流会	9月24日（日） 13:30～16:30 かがしま県民交流センター	■県内若手経営者の実践発表 ■テーマに沿った塾生同士の意見交換、グループワーク ■講師との交流会 自由交歓	講師 若松 徹 氏 （大和桜酒造株式会社取締役） 講師 高村 康一郎 氏 （吾村醸造株式会社代表取締役社長） 講師 下関 正博 氏 （株式会社下関藤男商店常務取締役） 講師 須部 昌之 氏 （有限会社すべ産業営業部長、ソリューション事業部長）
講演③、講演④	10月15日（日） 11月19日（日） 13:30～16:00 かがしま県民交流センター	■県内外講師による講演 ■講師と塾生、塾生相互の意見交換	講演③ 講師 栗川 昌 氏 （城山観光株式会社常務取締役） 講演④ 講師 青柳 俊彦 氏 （九州旅客鉄道株式会社代表取締役社長）
講演⑤、宿泊研修	12月9日（土） 10日（日） 14:00～翌11:00 県立青少年研修センター	■県内講師による講演 ■講師と塾生、塾生相互の意見交換 ■テーマに沿ったグループワーク	講演⑤ 講師 宮原 隆和 氏 （株式会社エルム代表取締役） 講師 丸山 洋一 氏 （株式会社本坊商店代表取締役社長） 講師 赤山 有紀 氏 （南国糖産株式会社代表取締役社長）
閉講式	2月4日（日） 14:30～17:00 かがしま県民交流センター	■塾生代表による意見発表 ■終了証書授与 ■塾生代表あいさつ ■鹿児島県知事あいさつ	全体講評 島津 公保 氏 （県教育委員、株式会社島津興業取締役相模役）

※ 全体コーディネーター 馬渡 一紀 氏（共創経営パートナーズ合同会社）

8 塾 生

52人（社会人30人 学生22人）

9 活動の様子



【開講式】



【現地研修】



【交流会】



【講 演】



【宿泊研修 グループワーク】



【意見発表会】

10 成果と課題、塾生の感想

(1) 意見発表シート（将来の鹿児島県の姿を描く！～魅力ある鹿児島づくりへの私のかかわり～）の提出と発表会

(2) 『『かごしま青年塾』を受講して』の提出

ア 「印象に残ったリーダーの言葉」より

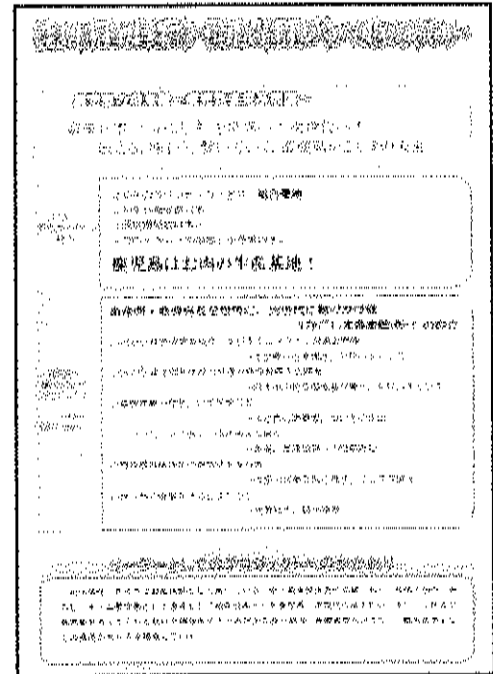
- ・ 「リーダーシップとは、大きな画を描いて人を巻きこむこと」
- ・ 「リーダーとは、みんなの意見をまとめ、ベクトルを合わせて同じ目標に向かっていく者」
- ・ 「自分のことだったらあきらめることができるけれど、九州やどこかのためなら一生懸命できる」
- ・ 「不利を有利に、ないことがチャンス」
- ・ 「どうせやるなら、楽しくやれ」 など

(3) 塾生感想

- ・ 受講前は、「リーダー」というものが明確にイメージできていなかったが、研修を通して、明確なリーダー像がイメージできた。研修を通して自分が理想とするリーダーは、仕事だけでなく仕事以外でも目標とされるリーダーである。自分が何をしたいのかを明確にし、関わる人々をしっかりとマネジメントできるリーダーとなれるよう努力したい。

- ・ 県内外の経営者の方々の話を聞くことができたこと、同世代の活力あふれる塾生と交流できたことは、とても充実した時間だった。今後もこのような青年塾が続いてほしい。

- ・ 様々な考えなどを知ることは、狭い業界に身を置く自分にとって大変刺激になった。自分の業務にこれまでと違った目線で考え進めることができた。



【意見発表シート】

Ⅶ 「かごしま県民大学」推進協議会

1 趣旨

県下全域を生涯学習のキャンパスとする「かごしま県民大学」を推進するため、本県における生涯学習の現状と課題を把握するとともに、課題解決のための方策等を協議する。

2 開催日時

平成29年7月27日(木) 13:30～15:00

3 開催場所

かごしま県民交流センター

4 委員(13人)

平成28年度改選(任期:平成28年7月1日～平成31年6月30日)

○印は、平成29年度推進協議会出席者(7人)

(1) 市町村関係者(2人)

吉松 健二(鹿児島市教育委員会生涯学習課長)

○中村 洋志(南九州市教育委員会教育長)

(2) 大学関係者(3人)

岩橋 恵子(志學館大学生涯学習センター長)

金子 満(鹿児島大学教育学部生涯教育総合課程地域社会教育専修准教授)

菅沼 俊彦(放送大学鹿児島学習センター所長)

(3) 民間関係者(5人)

ア 民間教育機関代表

坂口 猛(南日本新聞開発センター文化教室みんカル社長)

イ NPO代表

○中野 恭子(NPO法人かごしま遺産子活用普及協会理事長)

ウ 主催講座講師代表

○大谷 宏子(かごしま県民大学中央センター主催講座講師)

エ 主催講座受講者代表

小宮 智子(かごしま県民大学中央センター主催講座受講者)

○池増 美恵子(平成24年度「メディア研修講座」受講者)

(4) 県関係者(2人)

○西園 香緒利(県立霧島自然ふれあいセンター所長)

○久保 博一(県総務部県民生活局生活・文化課長) 代理 上村 清志

(5) 公募(1人)

○瀧川 憲洋(鹿児島市西伊敷校区あいご会会長)

5 議長(委員による互選)

西園 香緒利 委員

6 協議のテーマ

「県下全域を生涯学習のキャンパスとする『かごしま県民大学』を総合的に推進するための方策について」

7 協議の項目

- (1) これまでの主な事業の成果と課題について
- (2) 総合的に推進するための今後の方策について
- (3) その他

8 主な意見(抜粋)

(1) これまでの主な事業の成果と課題について

- ふるさとリーダー育成講座の受講者が減少している原因の分析をきちんと行う必要がある。外の機関が、どんどん似たような講座をしてきているとすれば、県民大学中央センターは何のためにあるのか、何を目的としているのか、そこを考えないと市町村と同じレベルの講座をしていては意味が無い。県民大学としてはどのレベルの人たちをどうしていくかという理念がないといけない。
- 受講者数は、鹿児島市は同じだが、開催地が年度によって違う。同じ所での比較であれば傾向として分かるが、開催地が違い、市町村で人材育成講座をやっているかどうか影響しているのではと思う。
- アンケート調査の結果をどう評価するかということになるが、人材育成講座は、いい講座を開けば参加者も来る。その後、どう持続的に受講者をフォローアップしていくかが大事である。単発で終わってしまったらもったいない、意味が無くなってしまう。

(2) 今後の対策について

- 受講者の年代層の報告を受けたときに、10年前は50代の方が中心で、今は60代の方が多いということだが、年齢層が上がったというのではなく、その時受けていた50代の人たちがそのまま上がったというだけのことである。見方を変えた方がいいのではという気がした。
- 50代が過去多く、60代が今多いのは当然である。年代で区別するのではなく、ニーズで区別していかないといけない。
根本的に少ないのは、子育て世代である。この世代はニーズは高いが、講座がない。子供を預かる施設がないので空白になっている。県民大学が独自性を出すにはそこにターゲットを絞っていくことも必要である。
- 独自性、専門性を県民大学中央センターが担うためには、市町村と同じことをしては意味がない。学びの手帳は大きな手立て、きっかけづくりになる可能性がある。まさしく県全体をキャンパスとするきっかけづくりになる可能性があるかと期待をしている。
- 県民交流センターが活気づいてきている、人が増えてきているといういい報道もあったので、ここを拠点としていくために、さらに生涯学習県民大学講座を中心として独自性専門性を生かした講座をより組んでいく。リーダー養成を主眼において、裾野を広げていく、新たなリーダーを育てていくシステムができてくると、まさしく県全体をキャンパスとして広がっていく可能性があると思う。
- 地理的な障害が鹿児島にはある。放送大学と連携した生涯学習の繋がりができないか、県民大学中央センターはそこができるのでは。
- ふるさと基礎講座とレベルアップ講座を2年続けて受けている。一言で言うととてもいい講座である。気になっているのが、活動していないというパーセンテージが数年2、3割いるということである。出席された方のやる気、悩みの中から、自分でもやれるのではないかとというのが、一つでも見つけられれば十分ではないか。基礎講座やレベルアップ講座を広げるために、市町村教育委員会あるいは自治体と連携していくことである。鹿児島市まで行くことができない、地理的なことでなかなか行けないという方のために、ここで講義された先生方をテレビやモニターで見れるとなると受講しやすいのではないか。本当は生の質疑応答ができるのが一番いいが、そういったのも学びの場としては十分果たすのではないかと思う。

- 障害のある方々が講座を受けられるというのはすばらしいことである。それと同時に我々が障害のある方について理解をしていくことは大切である。生涯学習県民大学講座でテーマとして講座ができればいいのではないかと思う。
- 最近内部障害の方も多く、一人一人症状が違う。福祉課の方の通り一遍の話だけでは、受講しましたで終わってしまう気がする。例えば、今回は視覚障害ということであれば、当事者の方に5分でも10分でも実際に来ていただいて、お話をしてくださると、理解が更に深まる。
- 高齢者や心身に障害のある方への配慮は十分やらないといけない。今後も生涯学習の視点から健全者も含めた生涯学習講座をどう組んでいくかということをもっと検討して欲しい。
- 毎年お願いしているが、パソコンを今の機器のものに変えて欲しい。今のものに変えれば、使い勝手がよくなり受講者が増えるのではと思った。
- 図書館は学びたいという意欲のある人が多い。公立の施設である図書館や博物館にチラシを置くこともいいのではないか。こういう広報の仕方は、地味なようでヒットする確率が高いと思う。また、市町村役場のロビーに置くのもいいのではないかと思う。
- 最近特に思ったのが安全面である。先日大きな地震があったが、その時は講座をしていた。講座を主催する側の方が、来てくださる方の安全をしっかりと確保できるように、適切な案内とか経路とかを案内できる指針みたいなものを教示していただけたら大変心強い。
- 地震発生時の対応について、もちろん逃げる場所の確認も大事だが、関係者が時々様子を見に顔を出すとうことは心強い。

平成29年度 かのしまの生涯学習
(かごしま県民大学中央センター事業報告書14)

平成30年4月発行

編集・発行 鹿児島県教育庁 かごしま県民大学中央センター

住所 〒892-0816 鹿児島市山下町14-50(かごしま県民交流センター内)

生涯学習課 学習推進係 TEL 099-221-6604 FAX 099-221-6640

生涯学習課 学習情報係 TEL 099-221-6606 FAX 099-221-6642

E-mail kenmindaigaku@pref.kagoshima.lg.jp(共通)

ホームページアドレス http://www.kagoshima-pac.jp/functions/central_center-2-2/

